

# 北杜 24 景フットパス

～伝えたい とっておき北杜～



## 1) フットパスの気運は北杜から・・・

北杜市には自然・文化・歴史に包まれたすばらしい景色や風景がたくさんあります。「歩く」ことで、北杜市の魅力を体感していただきたいとの思いから、「北杜 24 景フットパス」を国民文化祭北杜市主催事業と位置付けました。

本市では、「歩く」ことを目的に地の利を活かした取り組みが盛んであり、これらをきっかけに北杜市の魅力を体感しかつ国民文化祭ならではの取り組みを検討してきました。

会議を重ねる中で、地域に根付いたありのままの風景を楽しみながら歩く「フット(歩く)パス(小径)」の取り組みに活路を見出すことにしました。「ありのままの風景」は、地域の方々の長年にわたる自然への働きかけや、風土に根ざした伝統的な生活スタイル、土地への愛着などの結果生み出され、維持・管理されてきたものです。

当時、全国的な広がりをもせていないフットパスを、国民文化祭を契機に北杜市から発信していこうと、「北杜 24 景フットパス」を成功させるための気運が高まりました。

## 2) 予想以上の反応へ (H24 年プレ事業)

本大会を前に開催された「北杜 24 景フットパス」プレ事業では、「北杜 24 景フットパス」用に作成されたコースと今まで築き上げられてきた大会を融合しながら、地域資源と地域の特産品を活かしながら開催しました。

「北杜 24 景フットパス」という新たな試みに、参加者がたくさん集るのか運営スタッフとして不安でしたが、蓋を開けてみれば予想以上の申込みの反響に嬉しい悲鳴をあげ、本大会に向けさらなる事業の発展へ意気込むことになりました。

5月13日：

第7回北の杜ふるさとウォーキング in こぶちさわ

600名参加



11月10・11日

第2回八ヶ岳・棒道ウォーク

650名参加



7月14日：110名参加



八ヶ岳里山ウォーク

12月8日

大滝湧水と南アルプス

50名参加

10月20日：清里高原と開拓の道

35名参加



### 3) 『北杜 24 景フットパス』 (H25 年本大会)

地域・地元と関わりがもてるようなコース作りに励み、地域に経済効果がうまれるような工夫を検討し、プレ事業の勢いそのままに「北杜 24 景フットパス」が開幕しました。

**1月19日**：スノーシューで歩く清里の森

60名参加



**2月16日**：甲州街道 台ヶ原宿

62名参加



**4月20日**：津金三代校舎と鰻絵の里

76名参加



**5月12日**：第8回北の杜ふるさとウォーキング in 白州

1,100名参加



**6月15日：縄文の里と武田家のふるさと**

100名参加



**7月20日：オオムラサキの里ウォーク**

134名参加



**8月10日：ひまわりと太陽の里**

53名参加



**9月21日：武川米と武川衆のふるさと**

108名参加



10月19日：民話の里増富と紅葉の渓谷

80名参加



11月9・10日：第3回八ヶ岳・棒道ウォーク

832名参加



《ノルディックウォーク教室》



《講演「八ヶ岳と棒道」》



#### 4) 北杜 24 景フットパスの定着へ ～新たな文化の創出～

北杜 24 景フットパスには、市内外からたくさんの参加者があつまり、主催者としても北杜市の魅力を再発見することができました。

国民文化祭を契機に北杜市の潜在力を広く発信するために、長い期間、たくさんの関係者に尽力いただき、「歩く」ことが参加した全ての人に、新たな文化を生み出す素晴らしい物だと共通意識をもてたことに「北杜 24 景フットパス」の成功を感じます。